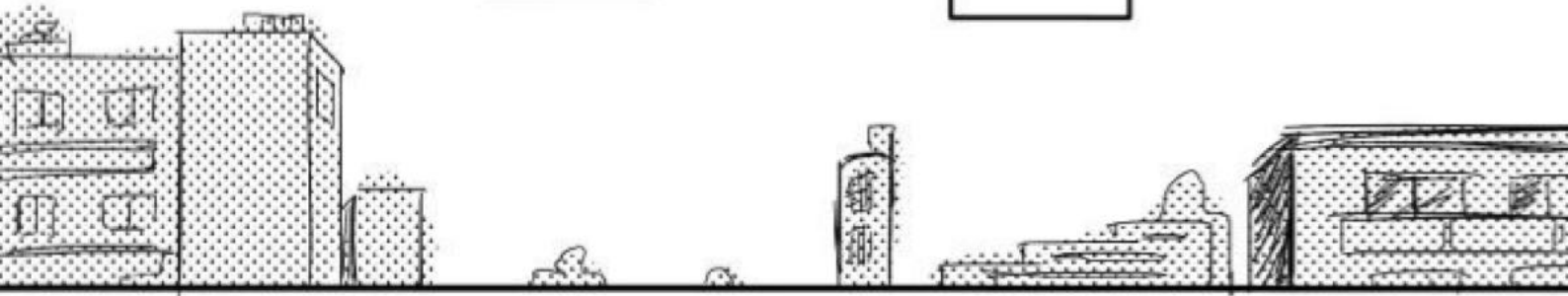




小田久子漫画

人生で初めての
告白をしたのは

別れの日の
朝だった







1年の時から
お前のことが
好きだったんだ



…へー

へーって
お前…

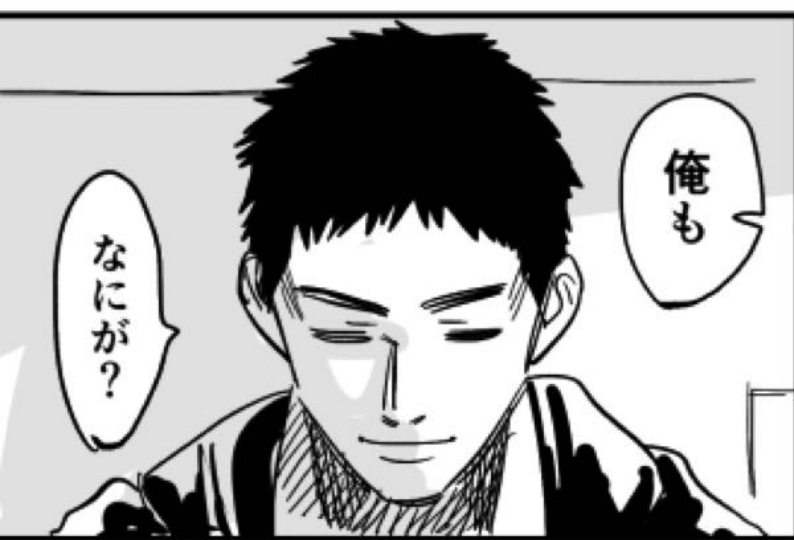
まあ水樹
らしいけど



フラれても
もう顔合わせること
ないだろ？はは……

勇氣出して
言おうと思って

なんたって
最後だからなー



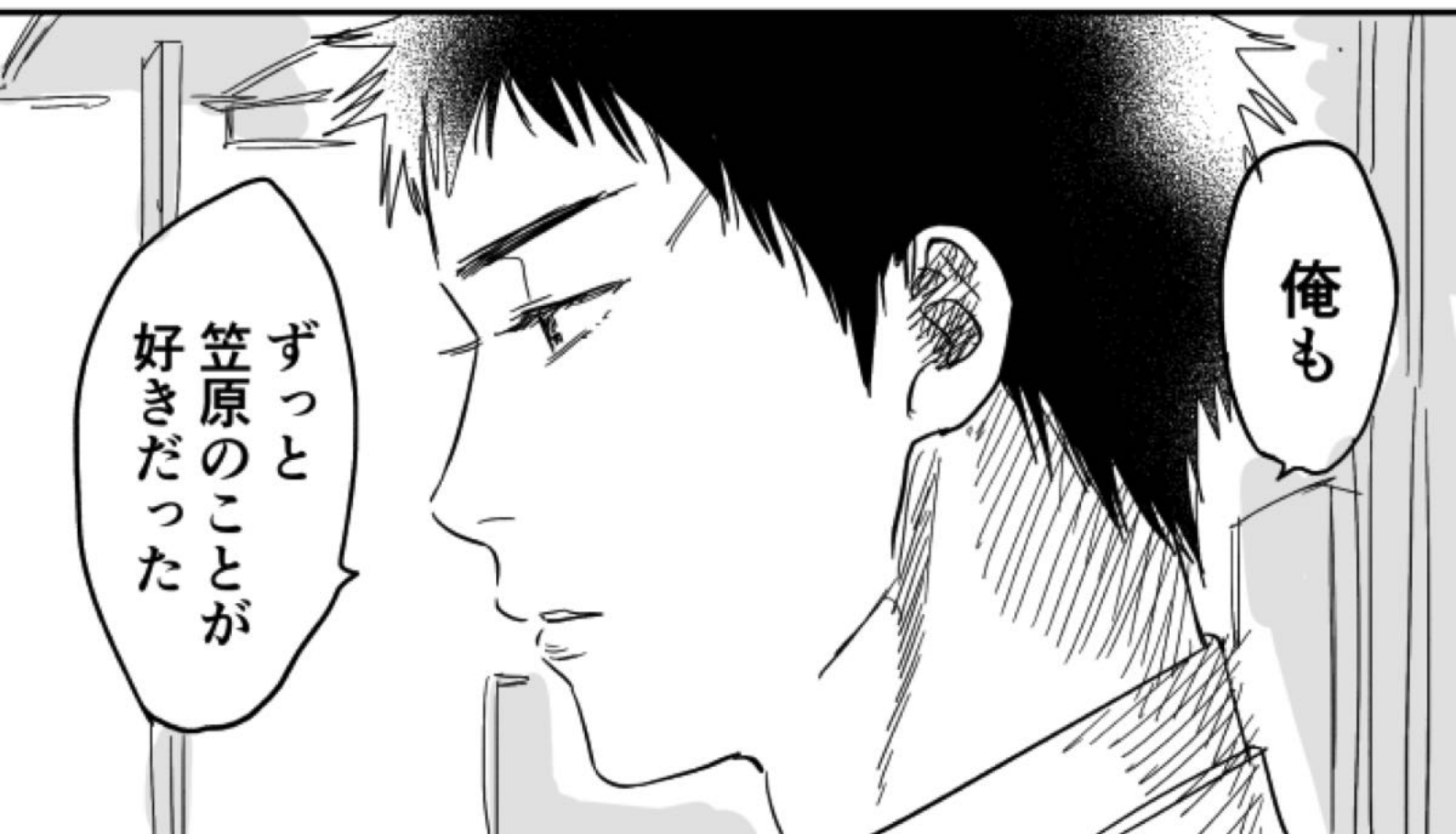
俺も

なにが？



笠原

んー？



俺も

ずっと
笠原のことが
好きだった



え...え
ちよつと
待て...

ストップ
ストップ

今から
目くらましだ



??

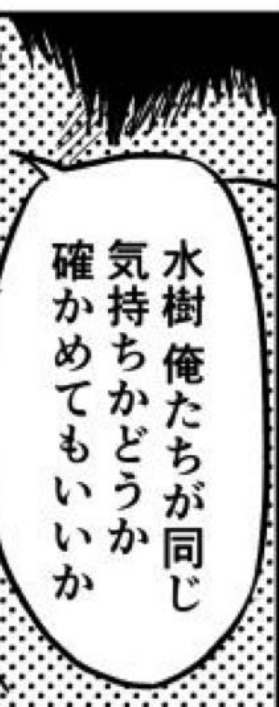


そんなバカな...
フラれて諦めが
つくと思っただのに
これじゃあ逆に
離れがたいじゃ
ないか.....



え?

そんなの
どうやっ...



水樹俺たちが同じ
気持ちかどうか
確かめてもいいか

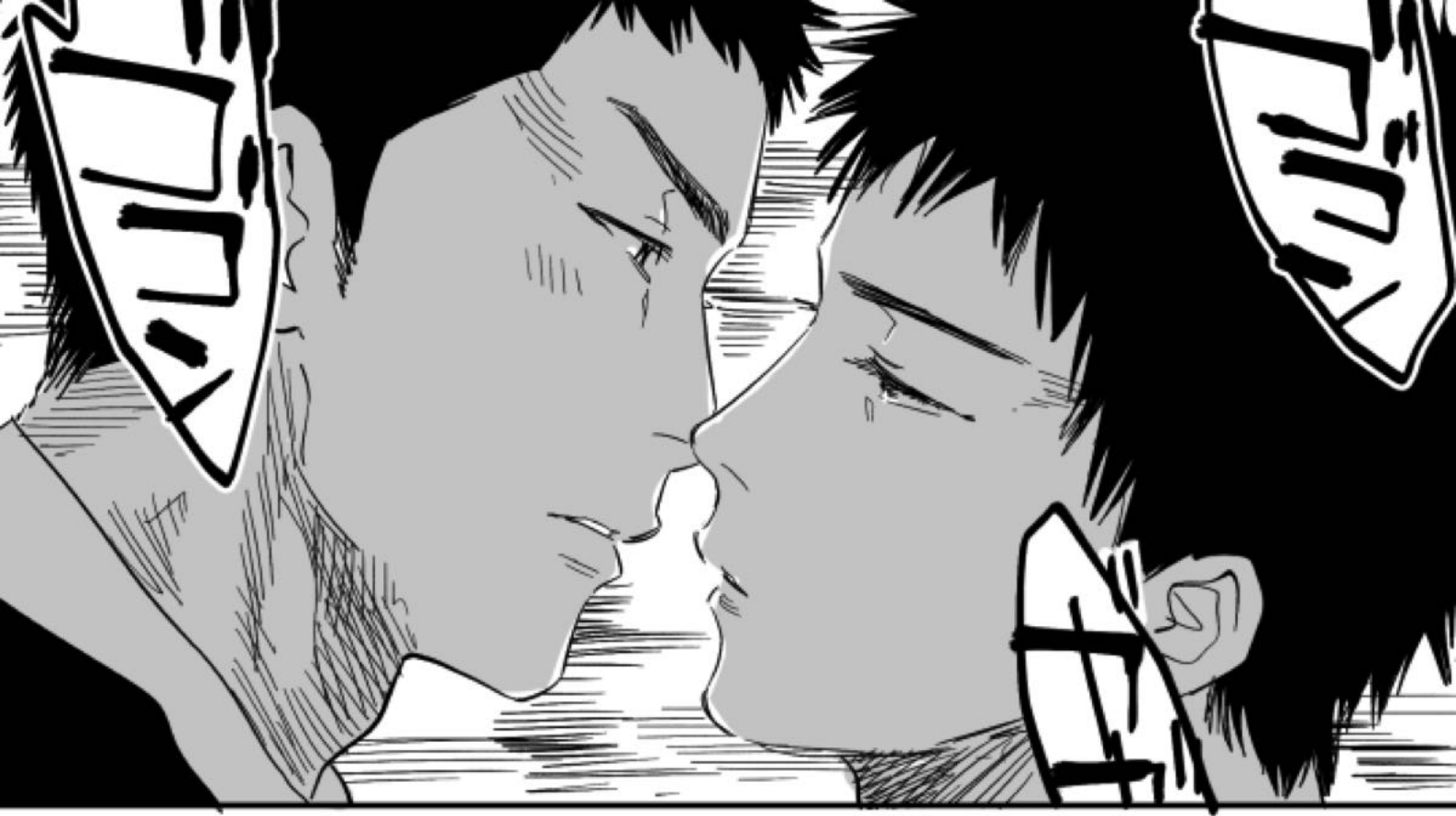


ヒル

よしわかった

うん?

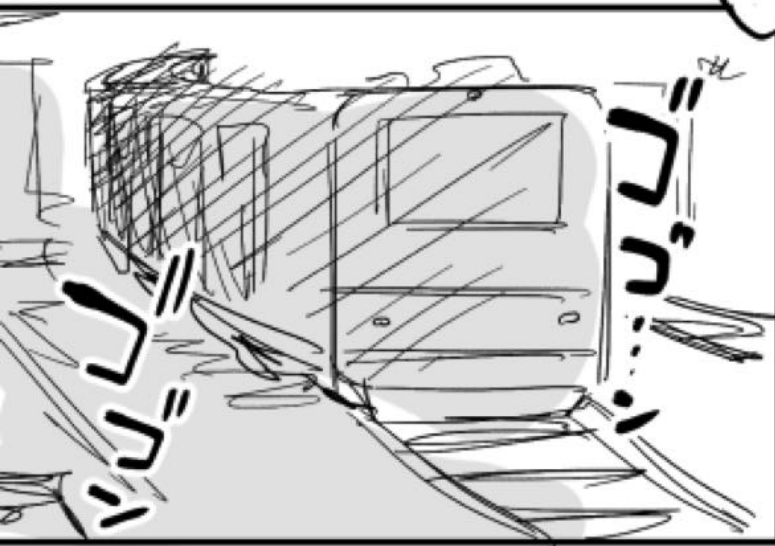




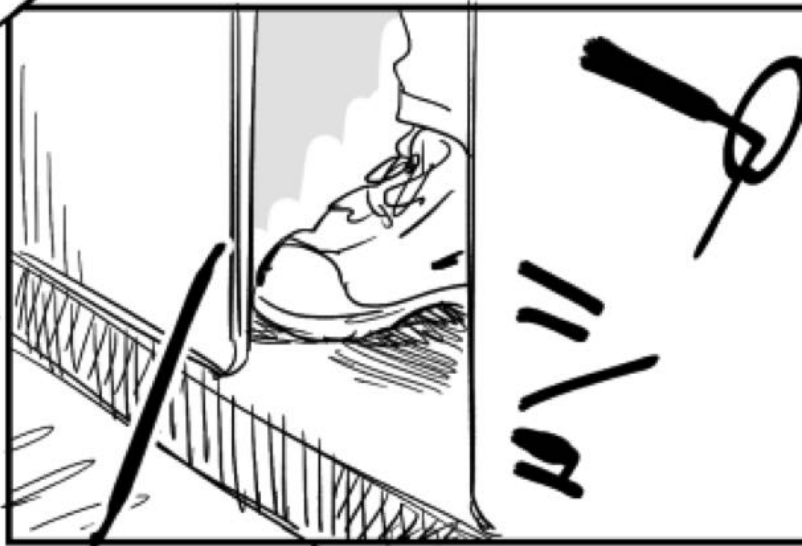




その時は……



カッパッパッ



カッパッ



カッパッ

カッパッ

カッパッ



俺は教員の免許をとる

そしてさらに
3年後



それから
2年後の夏

大学1年の時
祖母が自宅で
息を引き取った



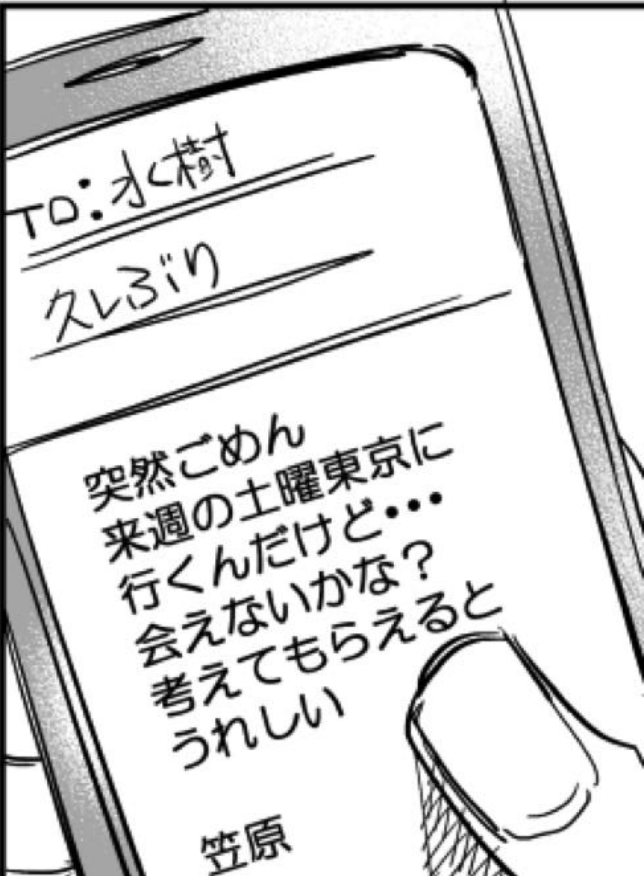
大学を卒業して
東京で生活を
初めようと

5年ぶりに
むこうへ戻る
ことにした



1週間前
水樹へ送った
メール……

返信なし



TO: 水樹
久留み

突然ごめん
来週の土曜東京に
行くんだけど…
会えないかな？
考えてもらえると
うれしい

笠原



水樹は……

いじやダメかもな……



もう俺のことなんて
思い出さないかも
しれない

プロのサッカー
選手になって

ますます
女の子に
モテるだろう



自信がない……

あれから
5年も経って
るんだ



イケメン

イケメン

イケメン

女の子に興味が
なかったとしても

水樹のまわりは
カッコよくて
サッカーがうまい
奴らばかりだから

?



水樹が元気で
幸せなら

それでもいい……

俺は……



水樹の気持ち
が変わって
いたとしても
当然の年月だ



笠原



え？



東京はいつでも
混んでるなあ……

えーと
どっちへ向かえば
いいんだっけ……





ああ…

ああこんな

人間の考えなんて
バカみたいだ

新幹線のなかで
言い訳のように
並べていた

水樹が幸せなら
それでいい
……なんて言葉

そんな綺麗ごと
なんて

俺が恋した
時のままの

子供のよう
綺麗な

水樹の瞳を
見た瞬間に

笠は……











先々週も
東京に来てて

その時にもう
部屋を契約して
あるんだ

だから今日は
さっそく部屋に
泊まろうかと



品川のほうなんだ
……どうかな



よかったら
今から来るか？

もう日も暮れるし
……部屋で飲もう



ははは
軽いな

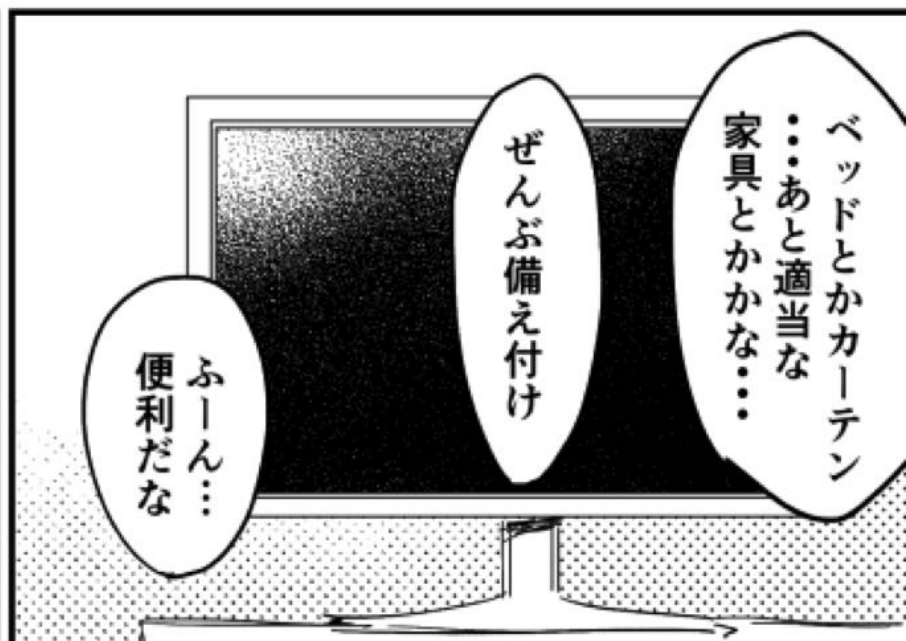
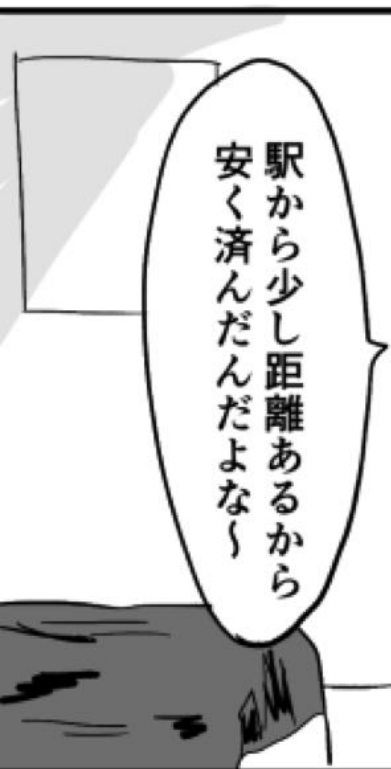
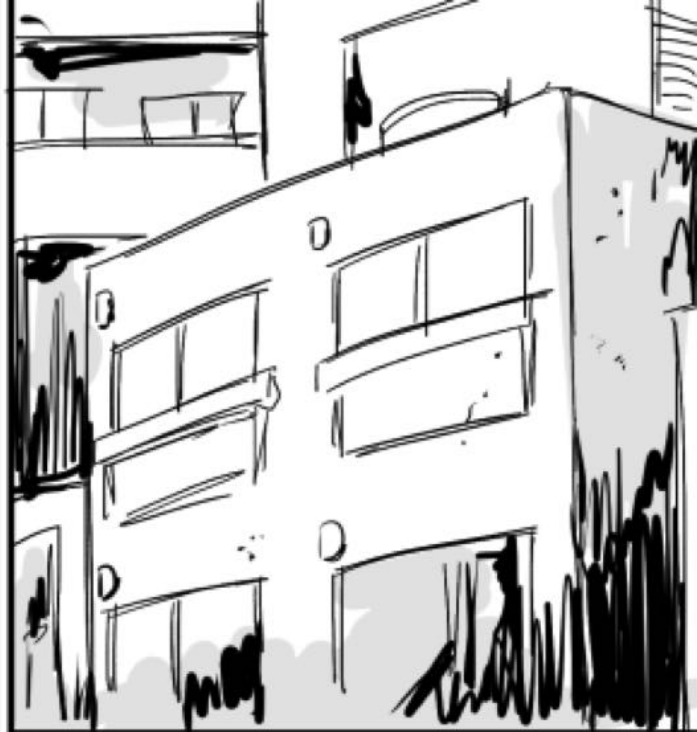


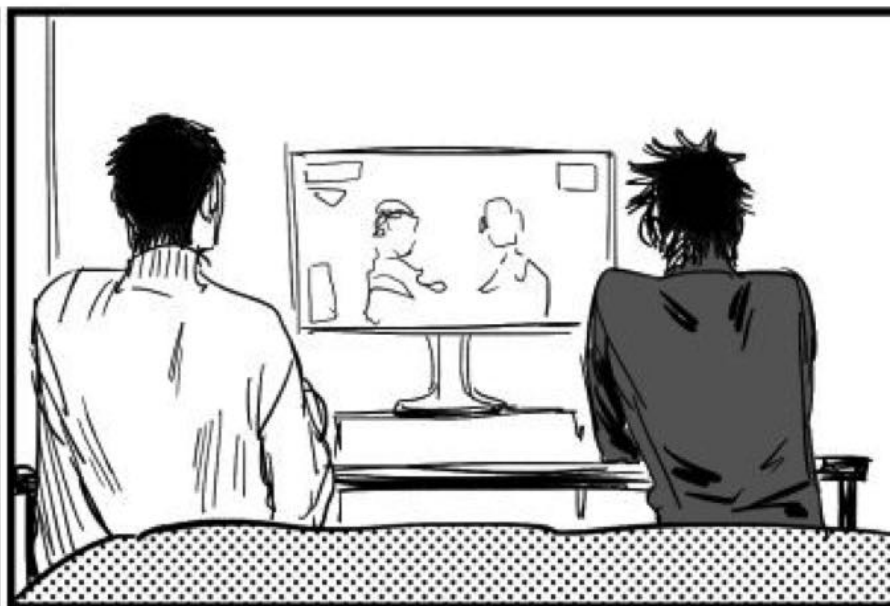
え？いいの？
行く行く

行きたーい

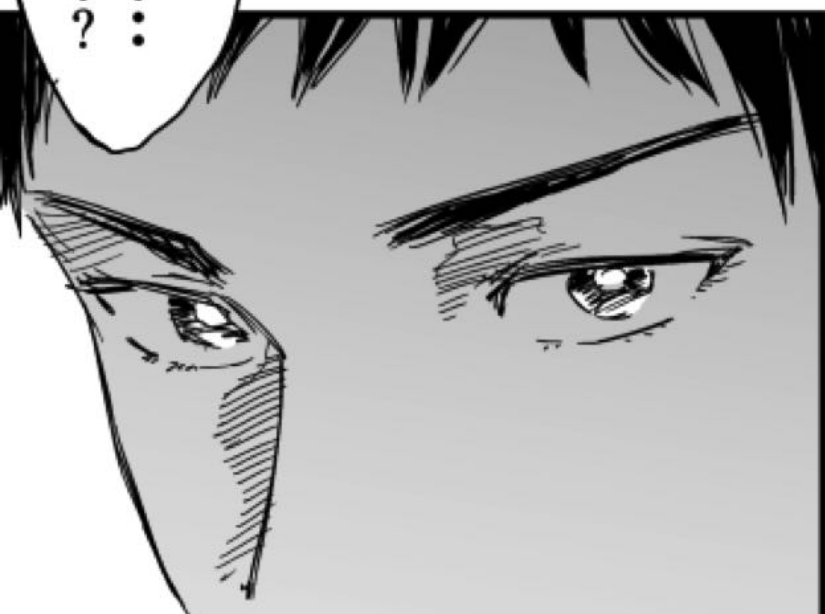
あったかいとこ

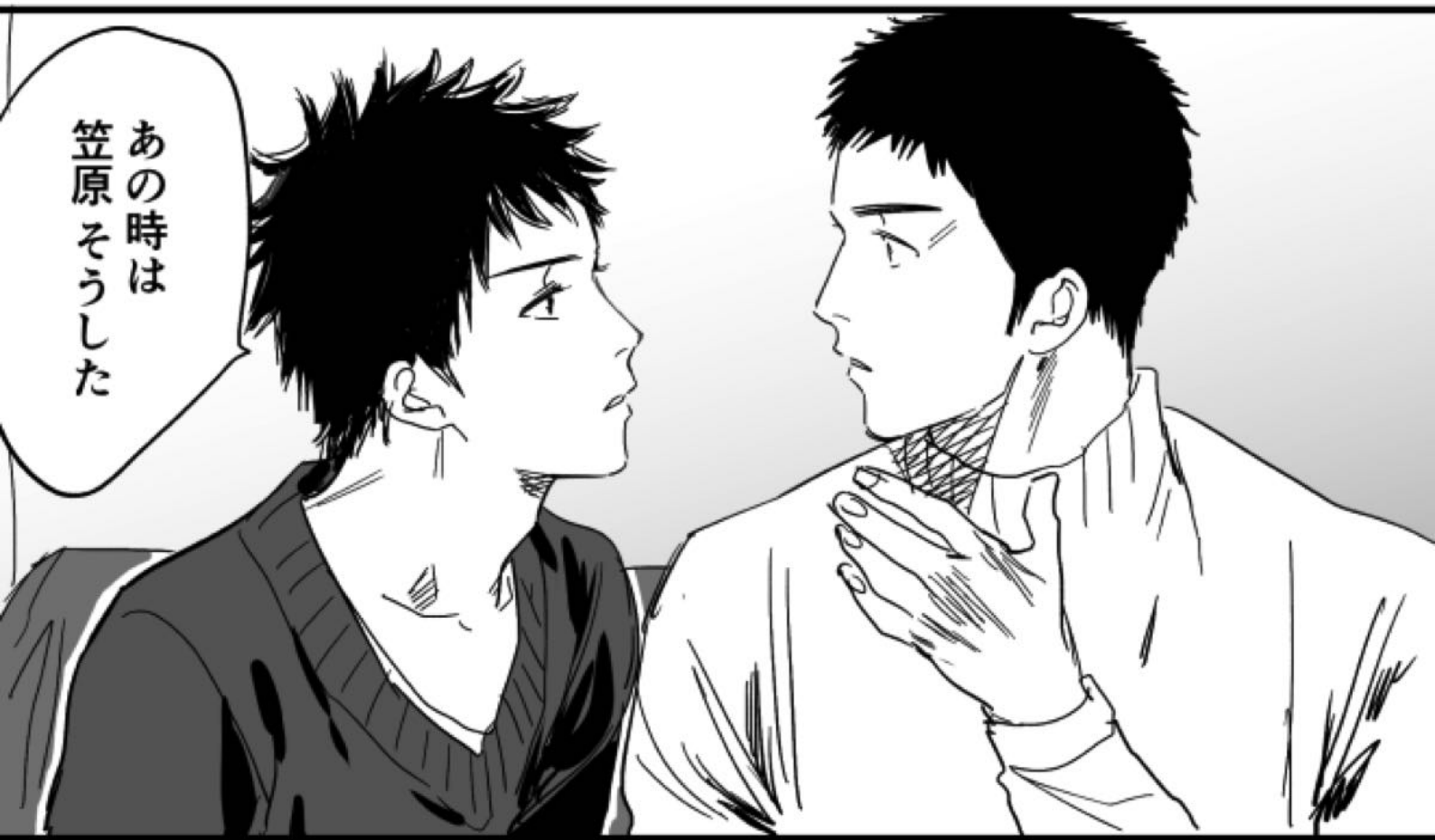
三つ折りの紙

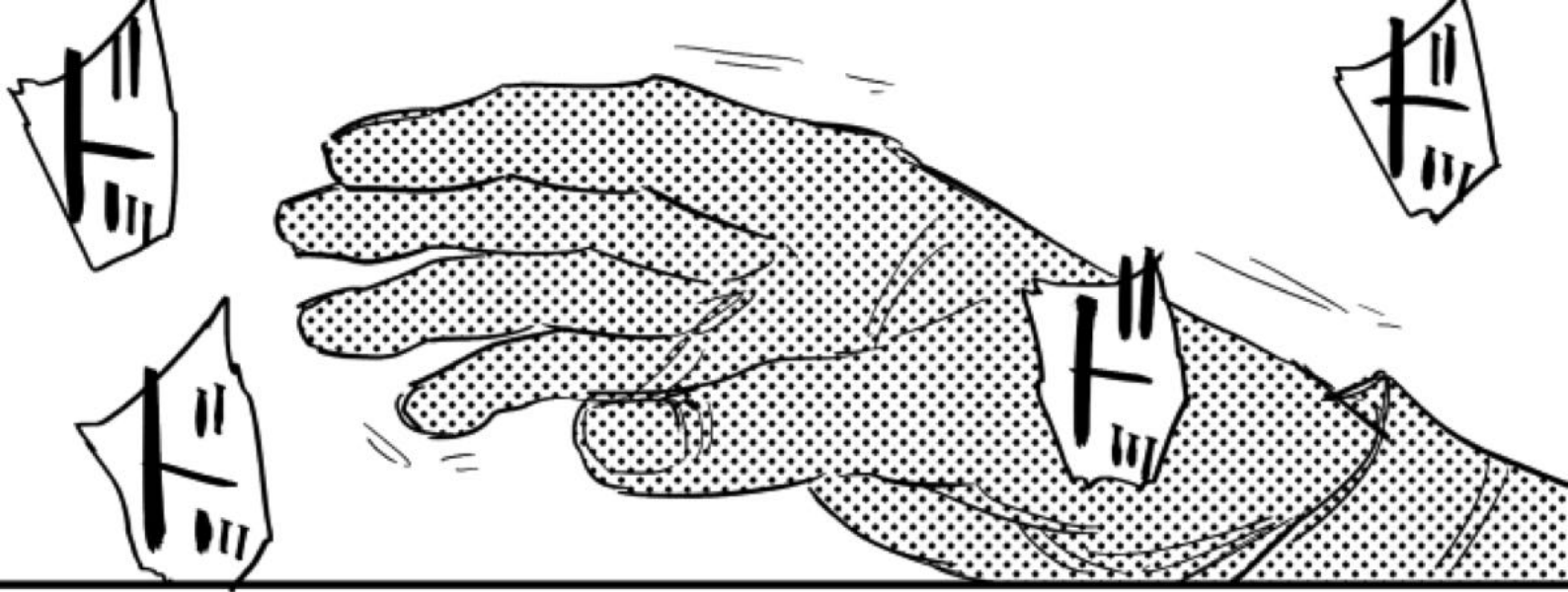




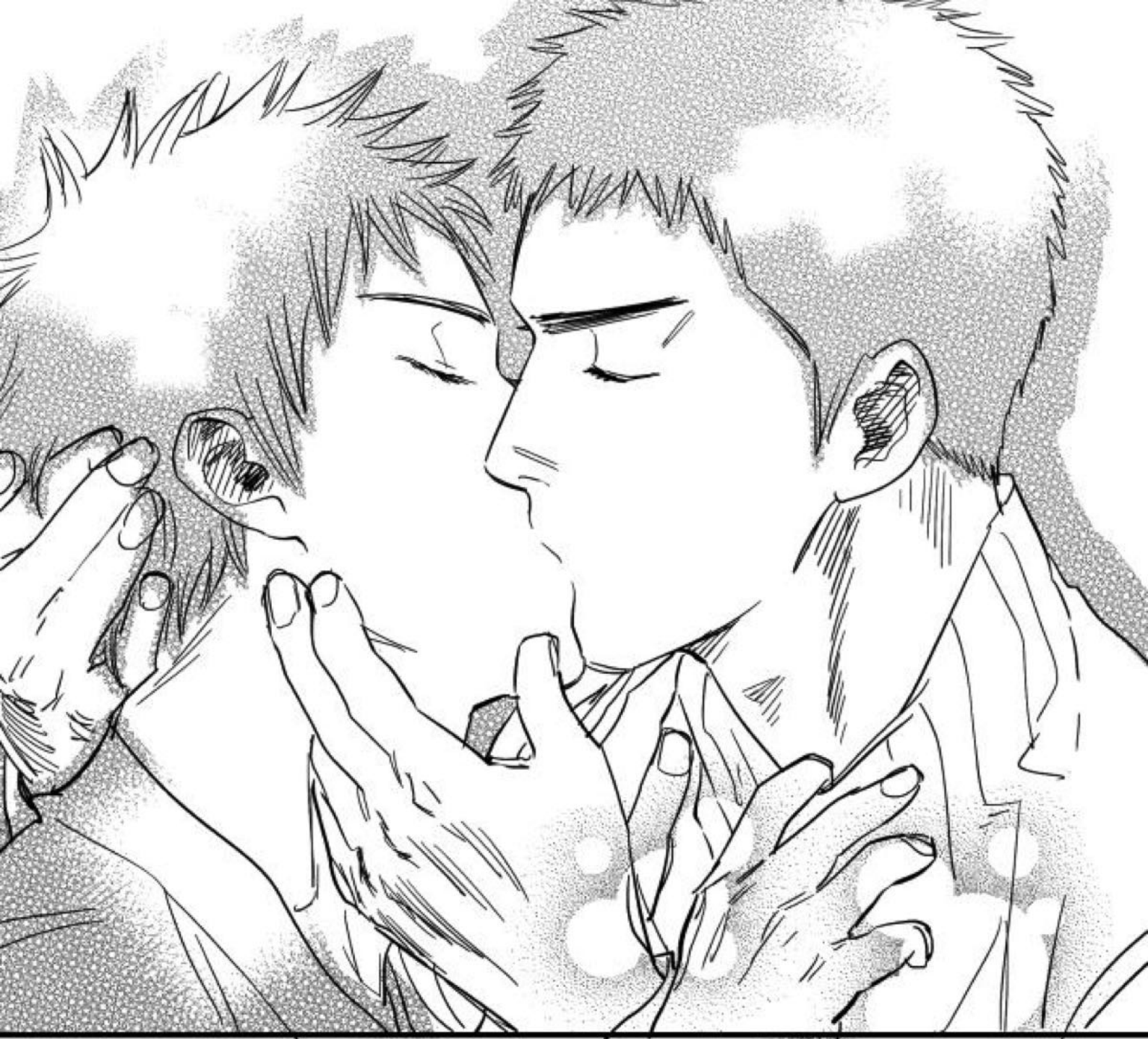


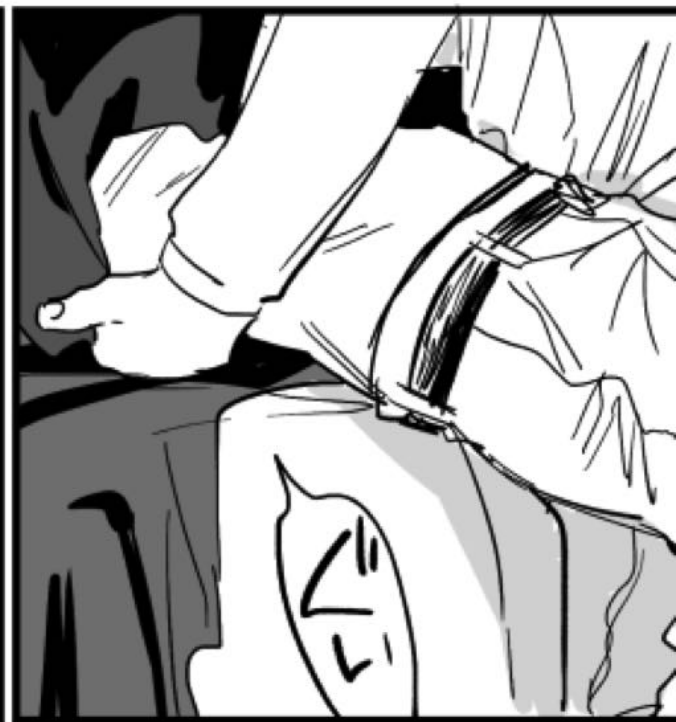
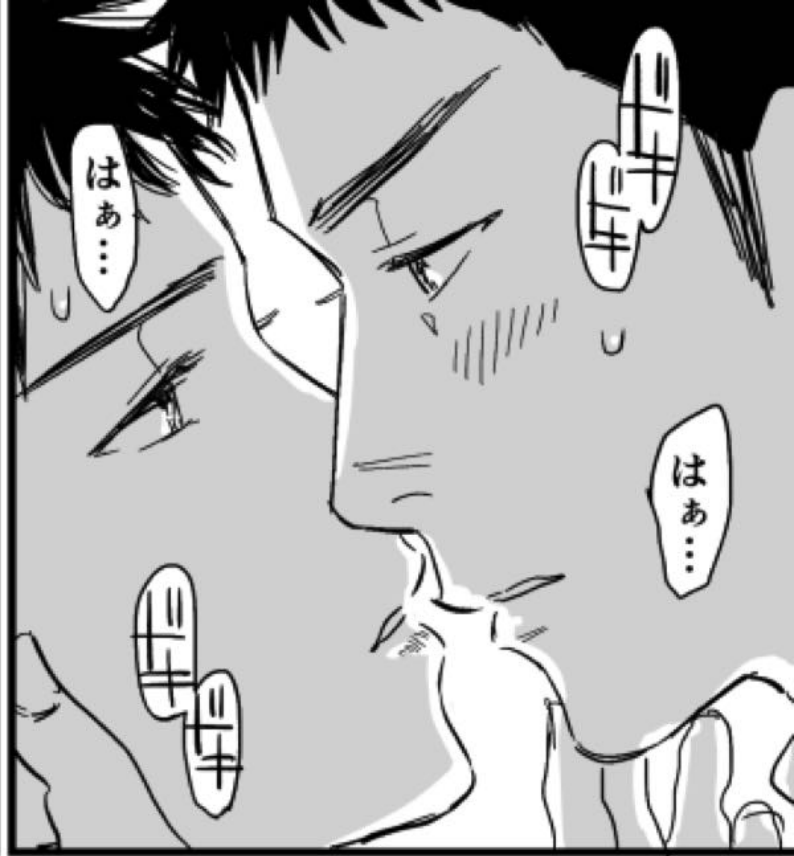






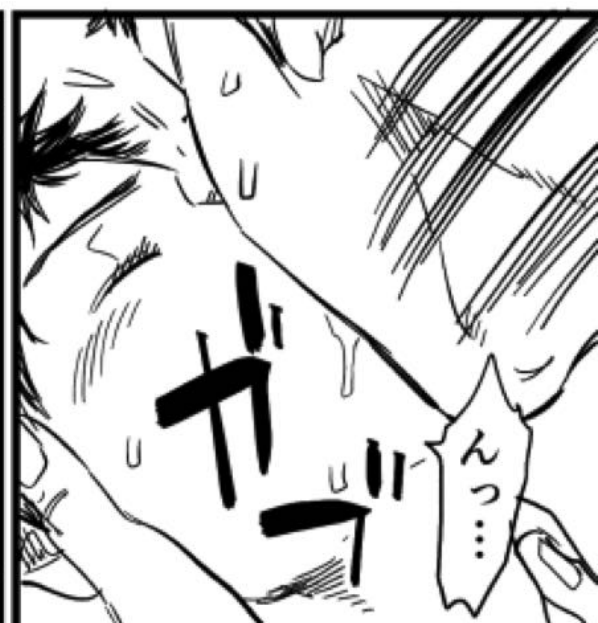
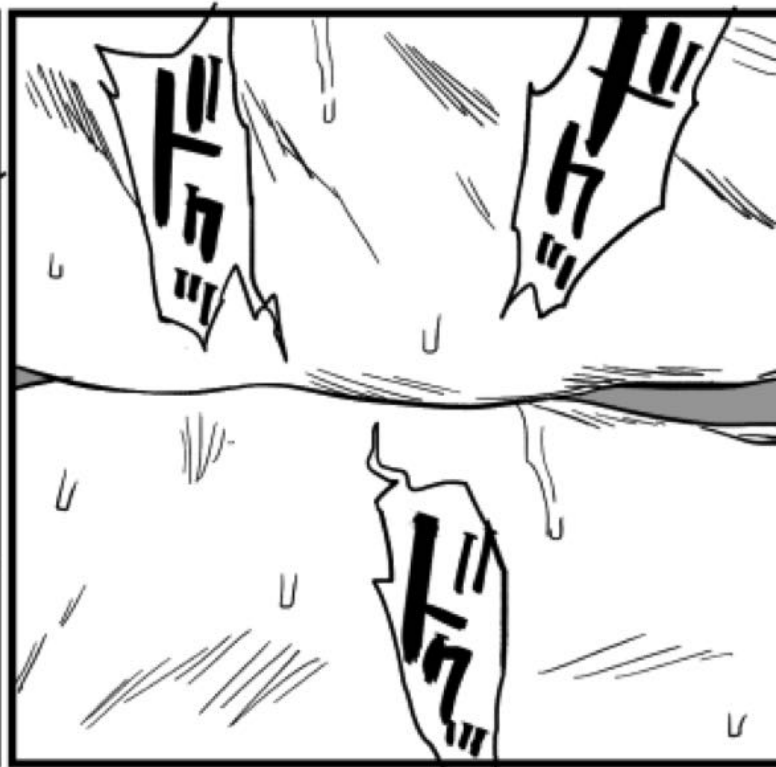
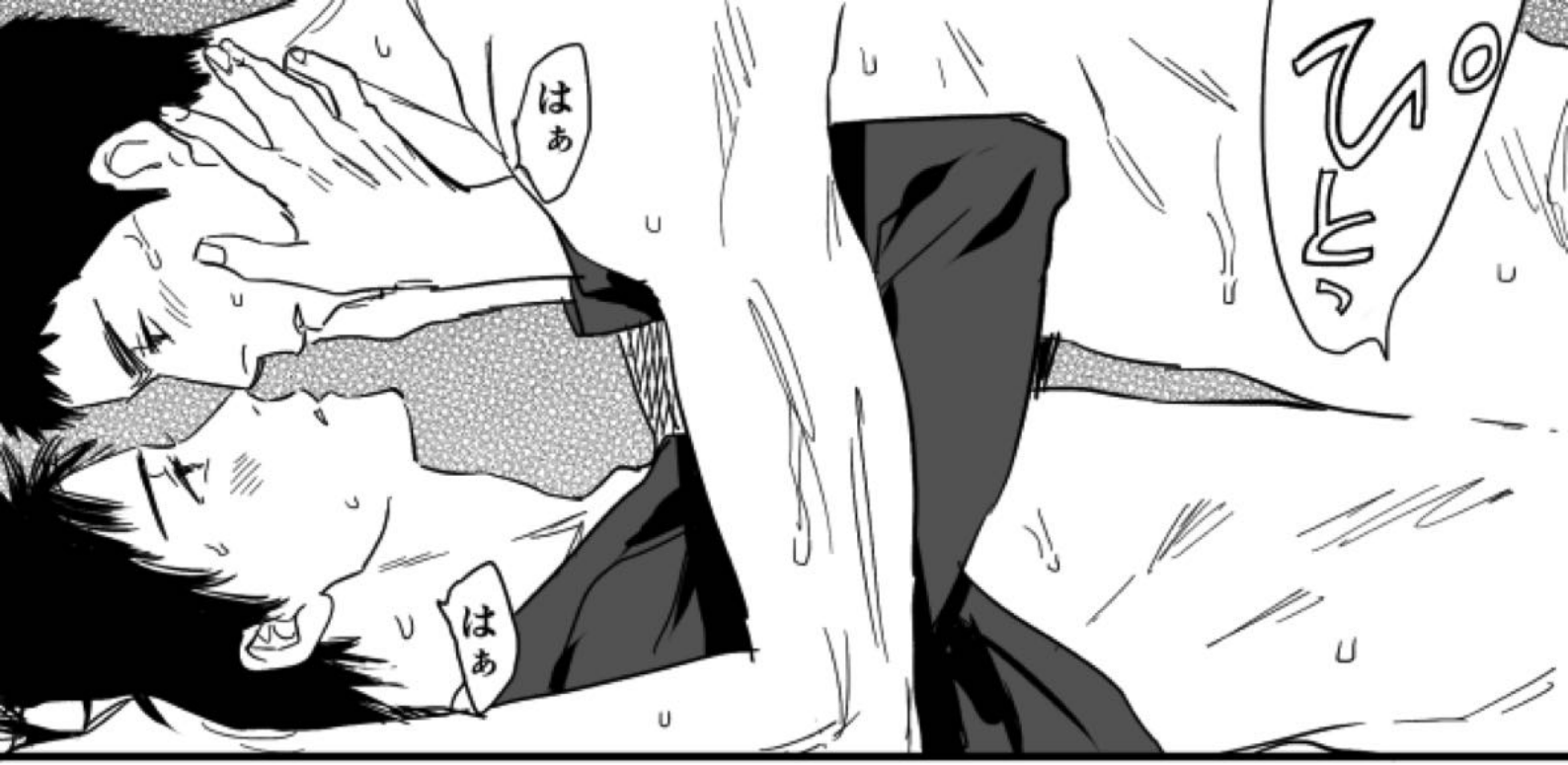


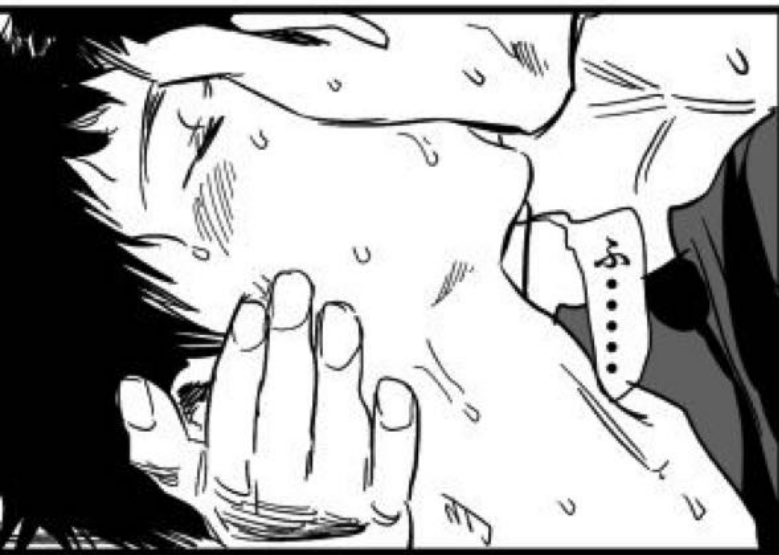


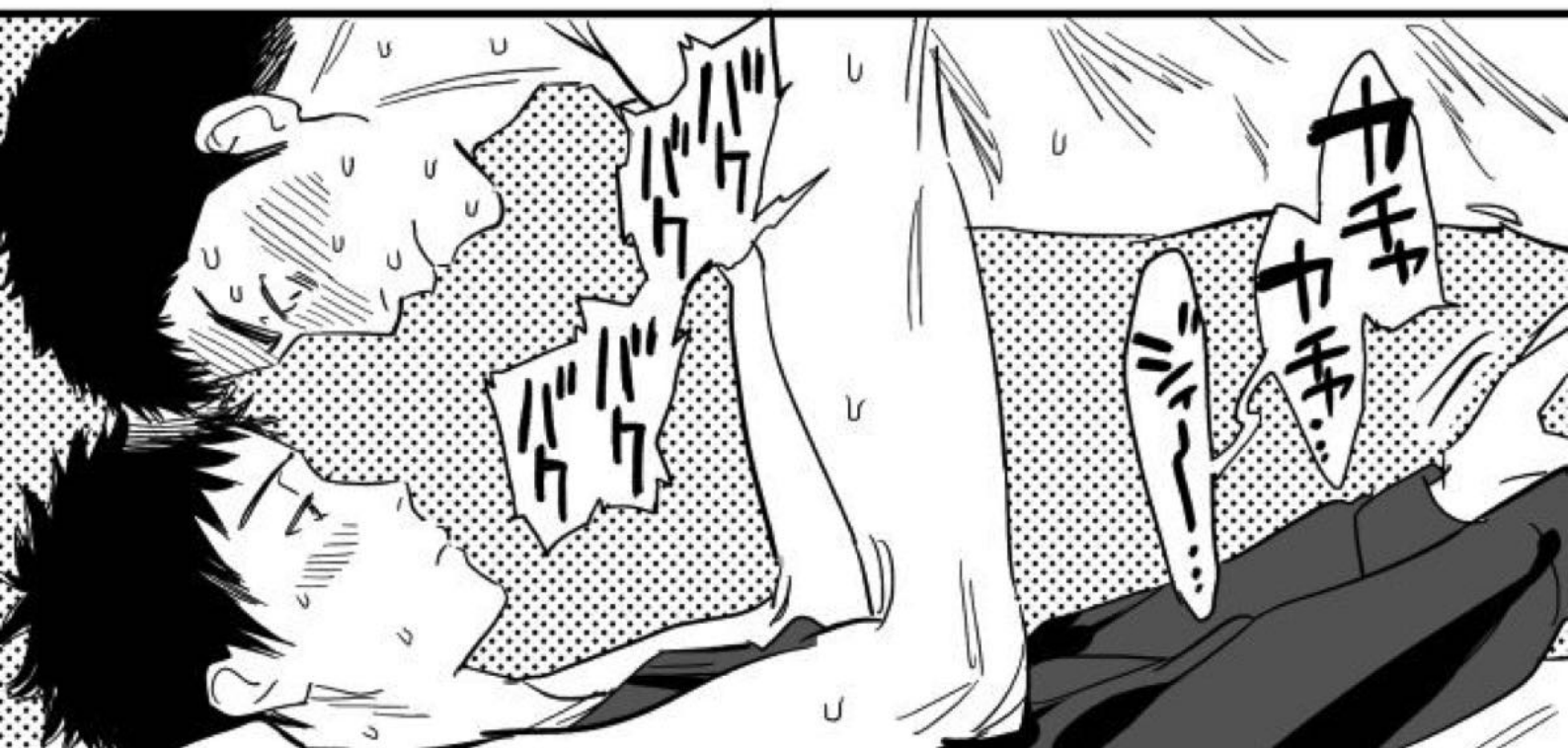




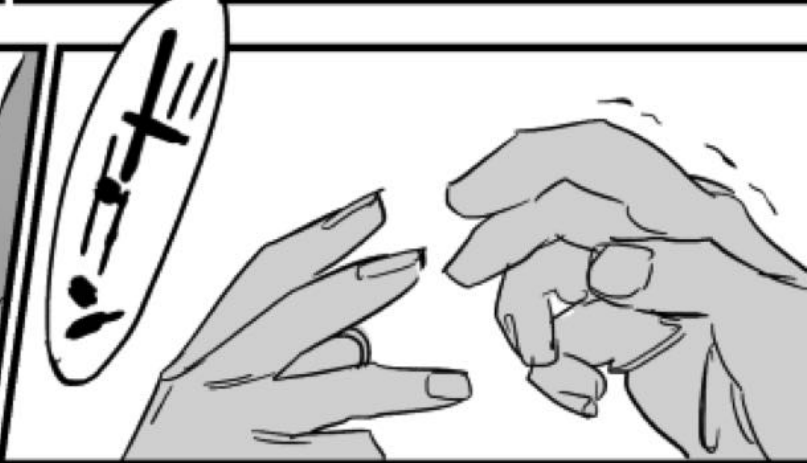
















なぐはっこれ腹が
 熱くて苦しいっ
 いうか笠原の
 ちんこデカす
 じゃなはっ？
 あ：笠原すこい
 顔してるなあ
 俺も同じ顔
 してるのかな



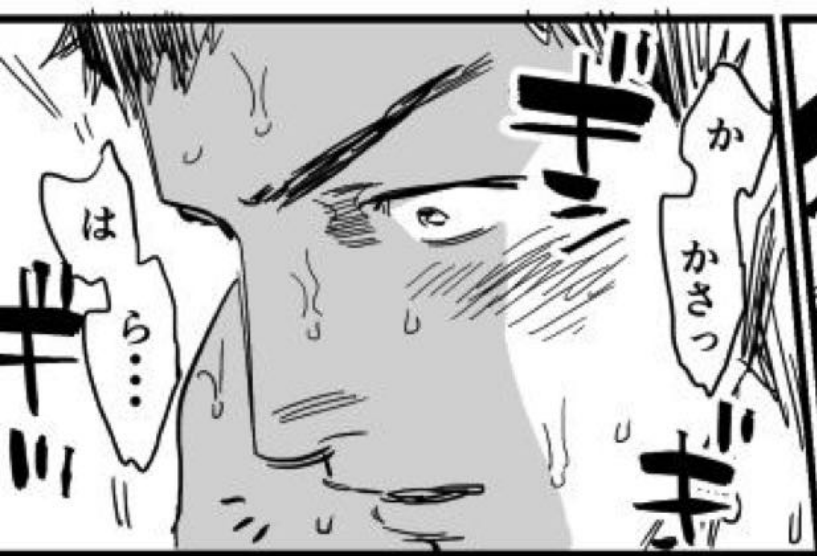
はっ
 水樹の中に
 俺のちんこが
 のちやくちや
 熱くて気持ち
 水樹はっ
 受け入れてく
 これは夢なん
 なはっ？しっ
 するんだ笠原



はっ
 ぐん
 む
 ちん

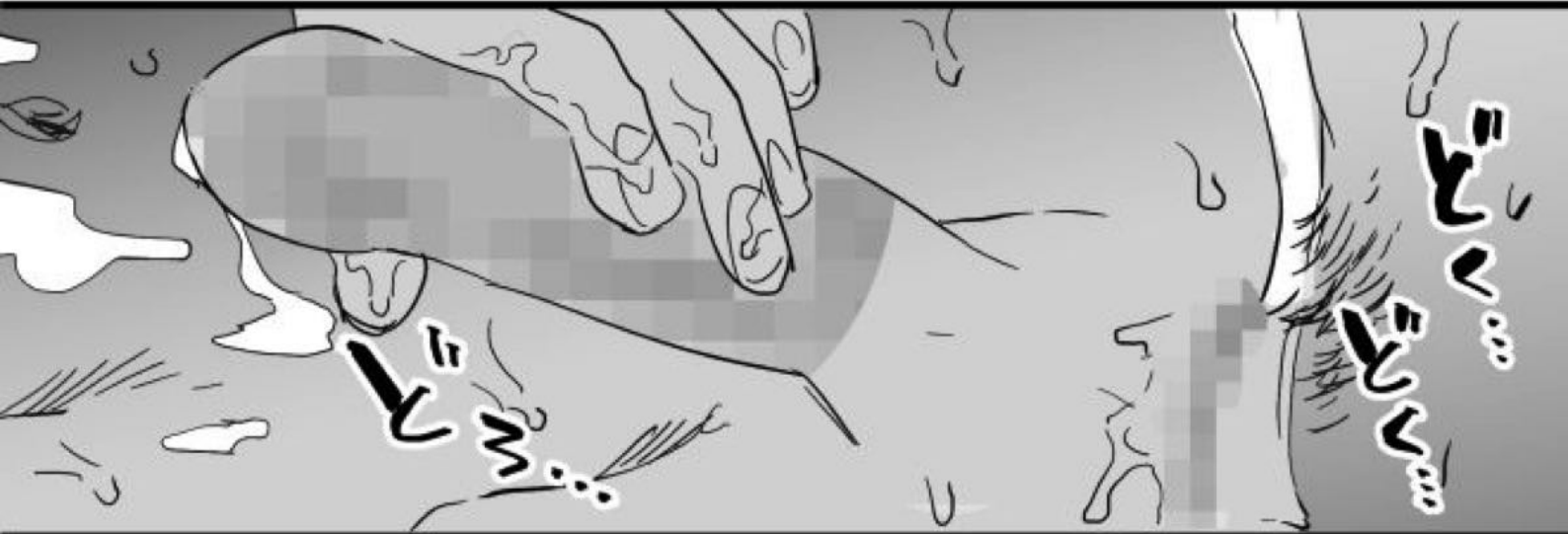


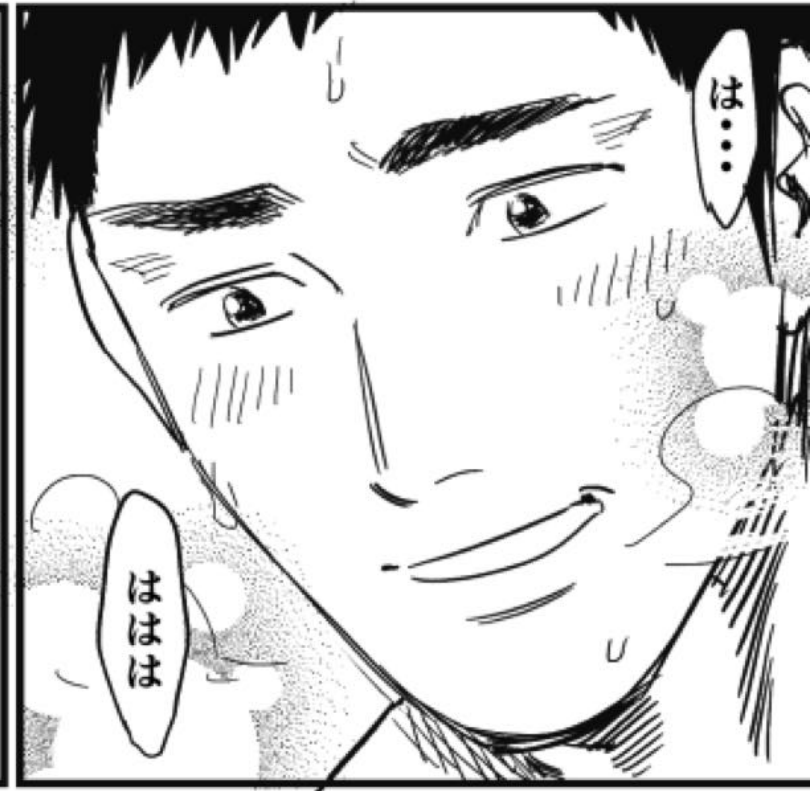
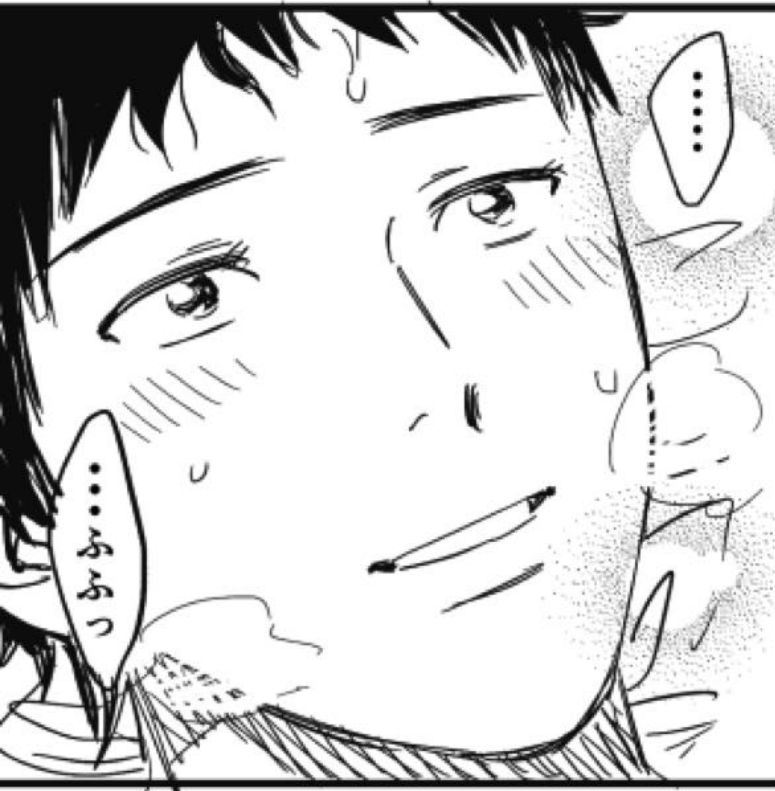
ハッ
 ハッ
 ……













会いたかった

水樹



スキ♡

うっ

スキ



うん

俺も...



うっ?

...









さっき...より
熱くて...すごいよ...

あ...

み...ずき

このま...

...



は...

水樹...

キ...

キ...

キ...

キ...



キ...

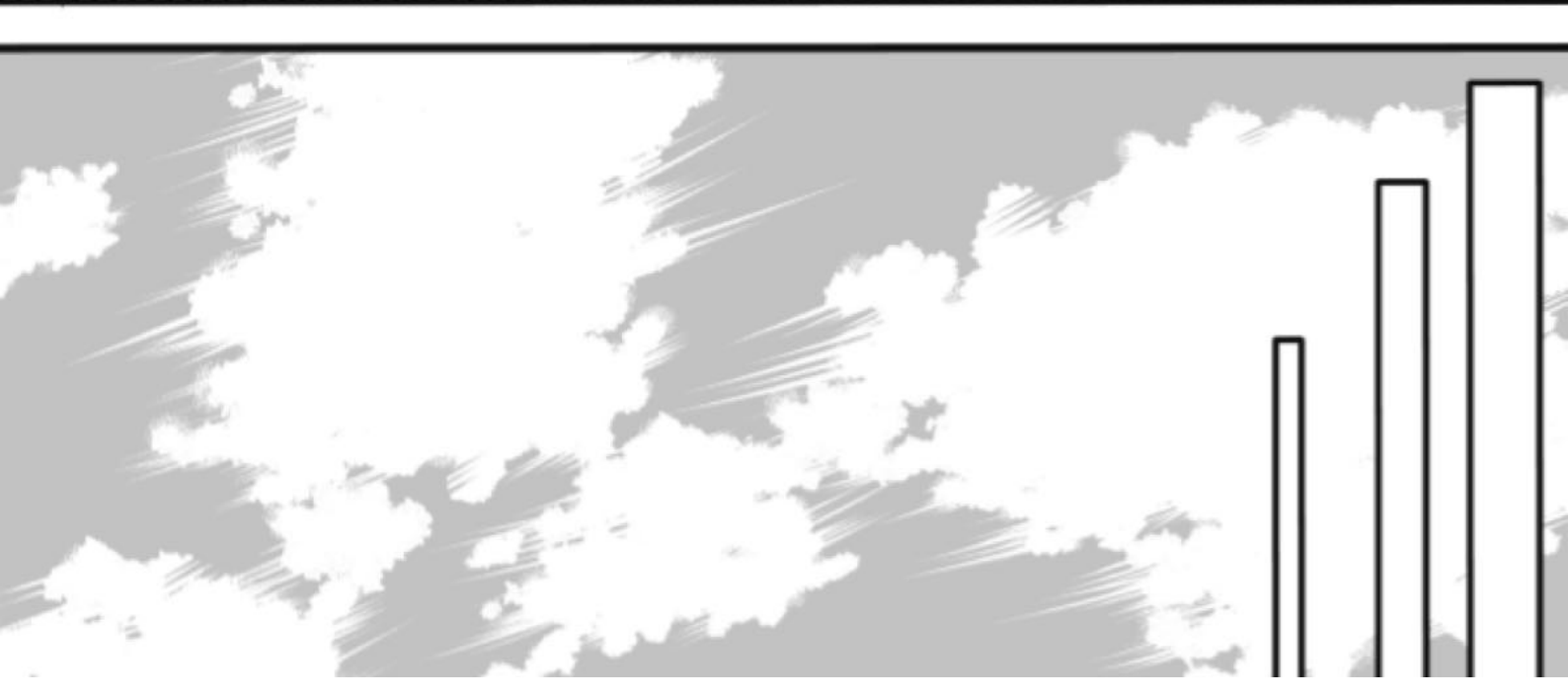
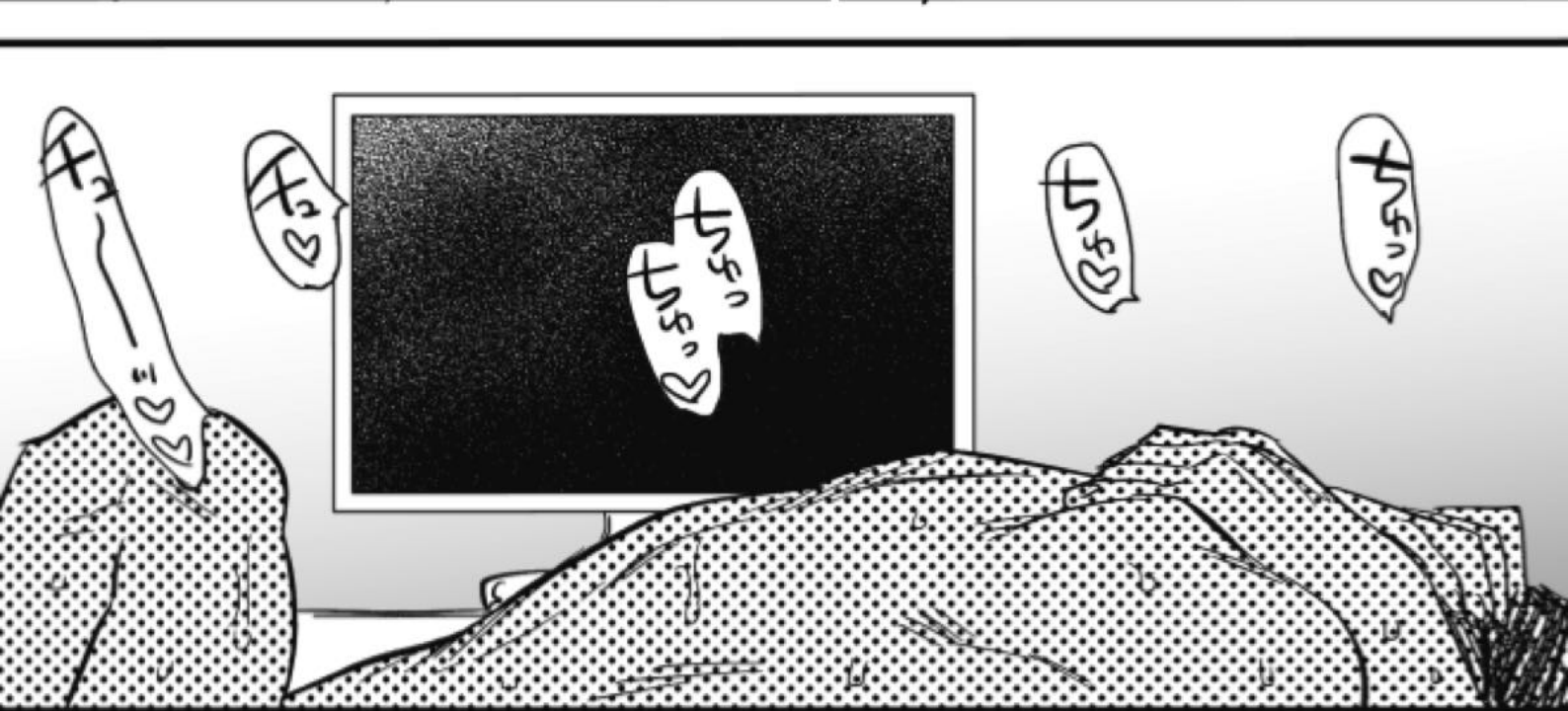
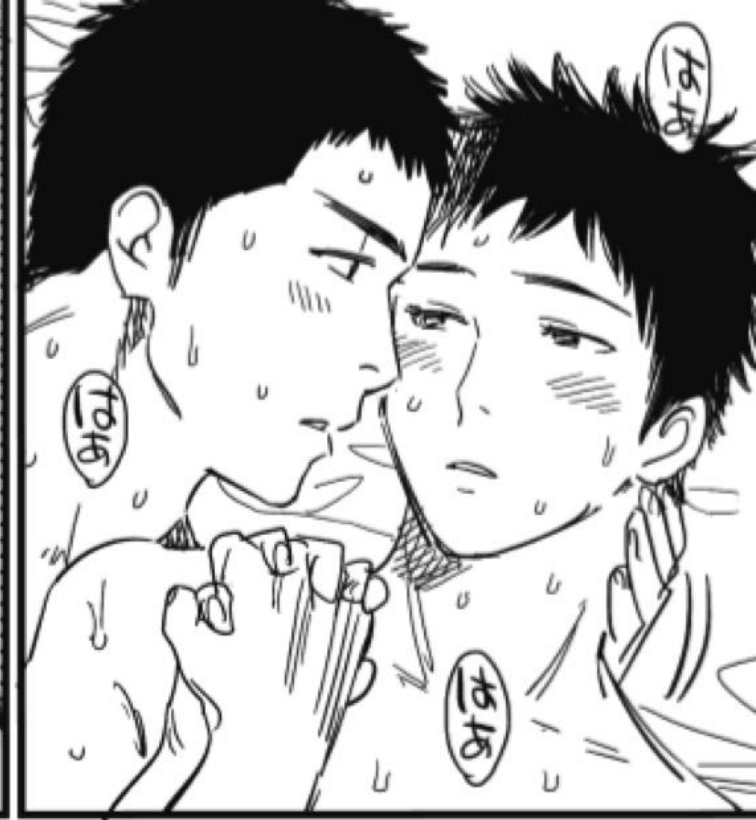
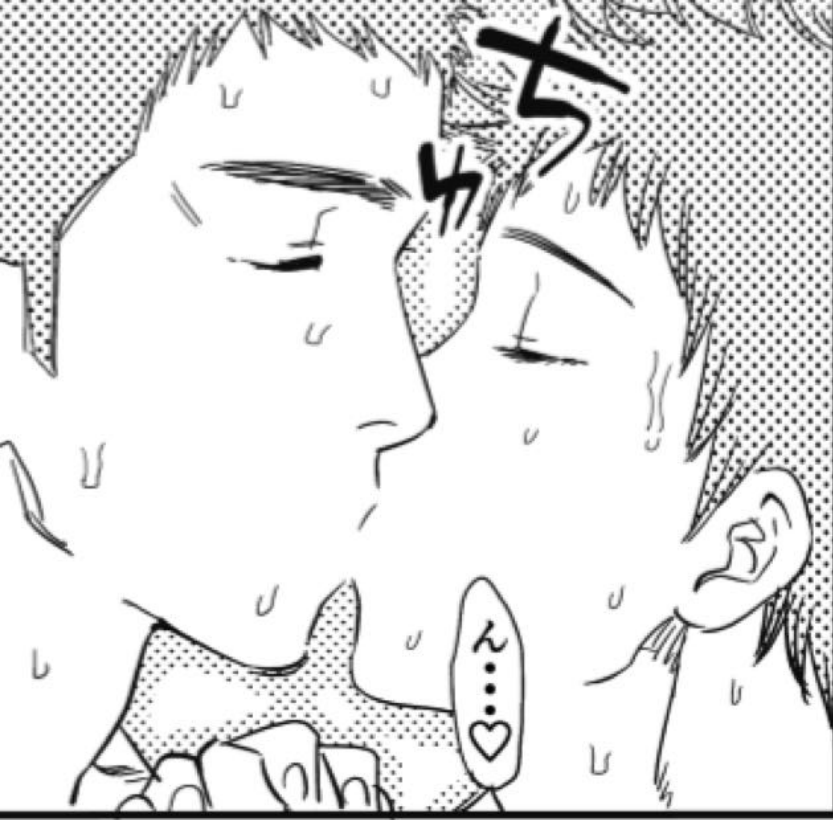
キ...

キ...

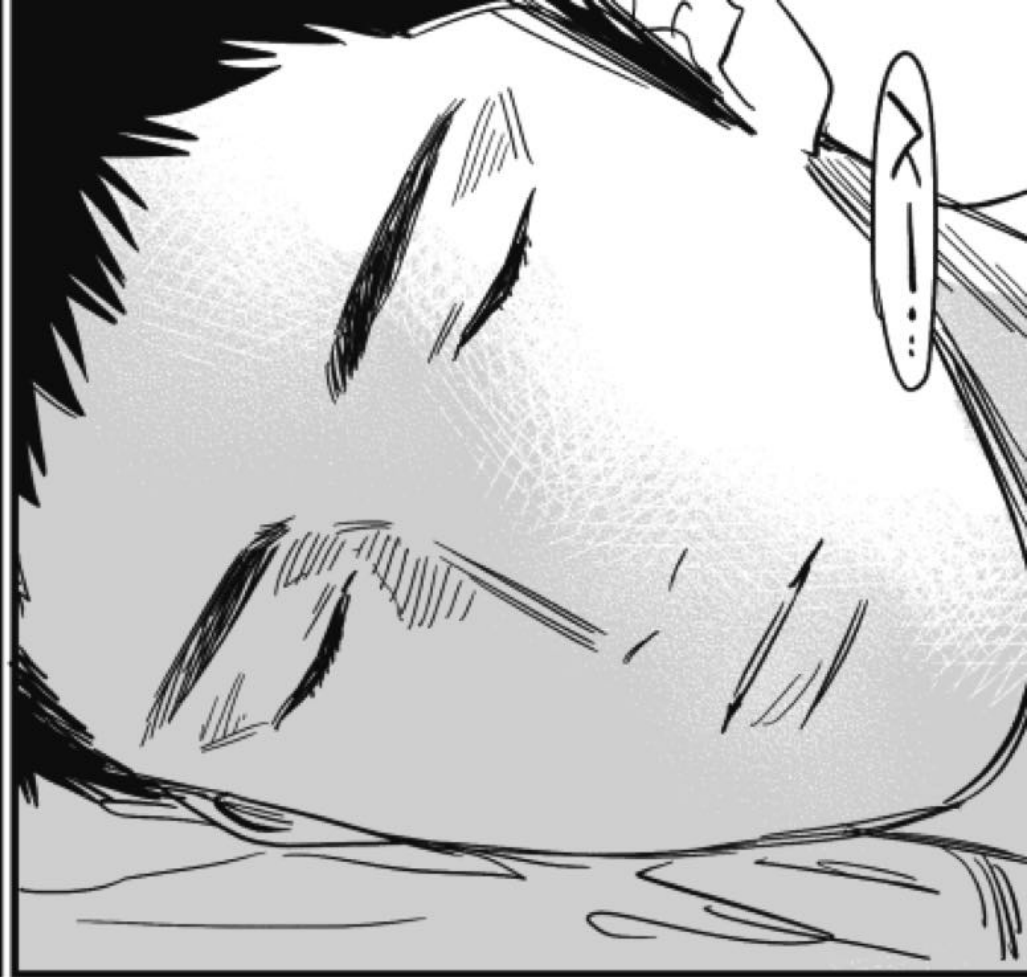
キ...











その時は...



必ずまた
会いに来る

その時に
もし...



もしも

まだお前が...
俺のことを
好きでいてくれたら

もう絶対に
お前から
離れない

ずっと
一緒にいたい



お前は俺を
離さないで

俺はお前を
W杯に連れていくから

あれ……
なんだこれ

寝起きから
幸せすぎる……

終

